

株主通信
vol.48

RYOWA REPORT

空気と水のテクノロジー

第75期　業績のご報告

2023年4月1日～2024年3月31日

ごあいさつ／トップインタビュー　❶
中長期経営ビジョン・中期3か年事業計画　❹
施工実績　❺
テクノ菱和の技術の紹介　❻
連結財務情報　❼
会社概要／株式の状況　❾

空気と水のテクノロジー
株式会社テクノ菱和
証券コード 1965

株主のみなさまには、平素より格別なるご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

私は本年4月に代表取締役社長執行役員に就任いたしました加藤雅也でございます。今後、一層の社業の発展に尽力する所存でありますので、何卒ご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

さて、テクノ菱和グループは、このたび第75期（2023年4月1日から2024年3月31日）の決算が終了いたしましたので、ここにご報告申し上げます。

株式会社テクノ菱和
代表取締役社長執行役員　加藤雅也
Kato Masaya



経営理念

「空気と水のテクノロジー」を通じて
環境にやさしい生活空間の創造を目指す。
環境エンジニアリングを中核事業とし、
ひろくお客様から「信頼」される企業を目指す。
人材の育成・教育を重視し
働き甲斐のある企業を築き、社会に貢献する。

行動規範三訓

逞しい心身の鍛錬
意志疎通の徹底
技術力の研鑽

Q 当期の建設業界を取り巻く環境はいかがでしたか?

A 当期のわが国経済は、5月に新型コロナウイルス感染症の分類が変更されたことで経済活動の正常化が進み、前半は緩やかな景気回復基調となりましたが、円安や原材料価格の高騰などの影響による物価の上昇から個人消費が低迷し、企業の生産活動にも弱い動きが見られたことから、後半にかけては回復の足踏みが続く状況となりました。

建設業界におきましては、公共投資、設備投資ともに底堅く推移いたしましたが、建設コストが増加した影響による投資額上昇といった側面もあり、実体としては前年度と同水準での推移となりました。

Q 当期の業績はいかがでしたか?

A 当社グループの連結業績は受注高82,797百万円、売上高73,688百万円、営業利益5,792百万円、経常利益6,374百万円、当期純利益4,506百万円となりました。

当期は好調な受注環境を背景に複数の大型物件を受注できたことから、受注高は大幅に増加し、手持ち工事の進捗が順調に推移したことから、売上高も前期を上回る結果となりました。利益につきましては、売上高の増加や、工事粗利益率の改善により、前期と比べて大幅な増益となりました。

	前期（百万円）	当期（百万円）
受注高	73,559	82,797
売上高	61,030	73,688
営業利益	3,175	5,792
経常利益	3,557	6,374
当期純利益	2,339	4,506

(注) 本報告書において、当期純利益は「親会社株主に帰属する当期純利益」を指します。

Q 中長期経営ビジョン・中期3か年事業計画について教えてください。

A このたび当社グループは2032年度までを見据えた中長期経営ビジョン「TECHNO RYOWA 2032」を策定いたしました。成長・投資・ESGのそれぞれに方針を定め、財務指標だけでなく、環境問題や多様性、人的投資等の非財務情報も含めた観点から具体的な数値目標を策定し、事業の成長を通じて社会的課題の解決に貢献していくことを目指してまいります。

また、同時にスタートする「中期3か年事業計画」につきましても、中長期経営ビジョンの実現に向けた中期的な戦略を計画し、段階的に目標達成に向けて取り組んでまいります。

Q 来期の方針を教えてください。

A 来期につきましては、4月から建設業にも時間外労働の上限規制が適用されます。これまでも社内システムの改善や業務効率化ツールの作成に加え、業務で使用するCADソフトを一新し、効率化を図ってまいりました。来期はこれらの取組みの総仕上げとして、時間外労働の削減を実現し、労働環境の向上を目指してまいります。また、人手不足が深刻化している建設業界においては、人的投資にも注力していかなければなりません。そのなかで来期は、教育制度の見直しと充実を方針に掲げ、従来から行っております技術者教育に加え、キャリア採用者に対する教育の充実を図り、技術力の向上に努めてまいります。

Q 来期の業績見通しを教えてください。

A 今後のわが国経済は、米中対立をはじめ、ウクライナ紛争やガザ情勢等、地政学的リスクの高まりにより、先行きが不透明な状況が続くと思われますが、一時的に停滞していた企業の生産活動が持ち直すことで雇用環境が改善し、個人消費の緩やかな回復が見込まれます。また、好調な企業業績や旺盛なインバウンド需要も相まって、景気は再び回復基調となることが予想されます。

建設業界におきましては、公共投資は当期並みで推移するものと思われますが、高水準な企業収益を支えに、企業の設備投資は増加基調となる見通しであります。

このような状況を踏まえつつ、来期の連結業績見通しにつきましては、受注高70,000百万円、売上高74,500百万円、営業利益5,100百万円、経常利益5,370百万円、当期純利益3,700百万円を見込んでおります。



	来期予想（百万円）
受　注　高	70,000
売　上　高	74,500
営 業 利 益	5,100
経 常 利 益	5,370
当期純利益	3,700

Q 株主のみなさまへのメッセージをお願いします。

A 来期は中長期経営ビジョン「TECHNO RYOWA 2032」と中期3か年事業計画の初年度となる重要な1年であります。当社グループといたしましては、医薬品・食品・電子デバイス関連をはじめとする産業設備を中心にバランスのとれた受注を推進するとともに、事業に係るエネルギー使用量の削減や男性の育児休業取得推進などESG経営の深化を実践し、持続可能な社会の実現に貢献することで、企業価値の向上に取り組んでまいります。

当期の期末配当金につきましては、業績ならびに今後の事業展開等を勘案いたしました結果、1株につき32円とし、年間では前期より12円増配となる1株につき48円とさせていただきました。

当社グループのより一層の発展に向けて、全力で取り組んでいく所存でございますので、株主のみなさまにおかれましては、今後ともご指導賜りますようお願い申し上げます。

中長期経営ビジョン・中期3か年事業計画

中長期経営ビジョン TECHNO RYOWA 2032

基本方針

1 急な拡大は求めず、品質の高い仕事を一つひとつ積み上げて着実に成長するよう事業を展開する　成長

2 社員教育と採用を含めた人的資本、研究開発、DX関連、ブランド力向上に積極的に投資する　投資

3 ESG経営を推進し、企業市民としての責務を果たすとともに広く社会に貢献する　ESG

2032年度(84期)まで

1. 成長戦略(連結)

売上高	1,000億円
経常利益	70億円
ROE	10%以上
PBR	1.0倍以上
従業員数	1,000人以上

2. 投資戦略(累計)

人的投資	10億円
研究開発投資	30億円
DX関連投資	25億円
政策保有株式削減	50億円

3. ESG

E	GHG(Scope1、2)※74期(2022年度)比	27%削減
S	女性管理職比率	10%以上
	女性技術系職員比率	15%以上
	有給休暇取得率	80%以上
	新入社員3年離職率	15%未満
	男性社員育児休業取得率	100%
	新卒採用者数(累計)	200人以上
	1級管工事施工管理技士数	550人以上
G	政策保有株式純資産保有比率※	10%未満

中期3か年事業計画

基本方針

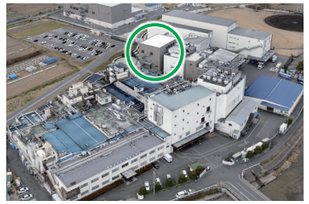
1 成長戦略の推進
2 人的資本への投資の促進
3 働き方改革の総仕上げ
4 ESGへの取り組みの深化

2026年度(78期)数値目標

事業戦略		項目	目標
成長(連結)		売上高	810億円
		経常利益	60億円
		ROE	10%以上
		PBR	1.0倍以上
投資(累計)		人的投資	3億円
		研究開発投資	10億円
		DX関連投資	5億円
ESG	E	GHG(Scope1、2)※ 74期(2022年度)比	11%削減
	E	GHG(Scope3)※	算定開始
	S	女性管理職比率	5%以上
	S	女性技術系職員比率	10%以上
	S	有給休暇取得率	60%以上
	S	新入社員３年離職率	15%未満
	S	男性社員 育児休業取得率	50%以上
	G	政策保有株式 純資産保有比率※	20%未満

ESGのうち※は連結、その他は単体

佐藤薬品工業株式会社 B-24製造棟



概要	
完成年月	2024年3月
施工地	奈良県橿原市
建物用途	工場
延床面積	2,309.32㎡
階数	地上4階
工事範囲	空調・給排水・用役設備工事

本物件は、国内における医薬品受託加工のリーディングカンパニーである同社工場内に、生産能力向上を目的として新設された建物(写真〇印)であり、原料の秤量から製剤、包装までを行う施設となっております。右は製剤の工程のうち、薬の表面にコーティングを行う被膜室で、薬の有効成分を保護して安定性を向上させるとともに、苦み等をマスキングして飲みやすくする役割を担っております。被膜室はクリーンルームとなっており、温湿度に加え室圧や気流も制御された高度な塵埃管理がなされております。



株式会社近江兄弟社 山面第2工場



概要	
完成年月	2023年12月
施工地	滋賀県蒲生郡
建物用途	工場
延床面積	4,000.00㎡
階数	地上2階
工事範囲	空調・衛生・ユーティリティ設備工事

本物件は、同社の主力製品のひとつである「メンターム」をはじめとする医薬品、医薬部外品、化粧品等のスキンケア製品の生産工場であります。本工場はアジアを中心にグローバルマーケットへの商品展開を見据え、生産能力向上を目的として建設されました。高度な品質管理が求められる医薬品の製造に対応するため、工場内にはクリーンルームが導入されており、室圧・気流・清浄度の厳密な管理が行われております。

一般社団法人半田市医師会 健康管理センター



概要	
完成年月	2023年12月
施工地	愛知県半田市
建物用途	診療所等
延床面積	14,559.35㎡
階数	地上4階
工事範囲	空調設備工事

本物件は、地域医療の拠点として質の高い医療サービスの提供を目指して新たに建設された健康管理センターであります。本施設には共同利用施設として、PET-CT、MRI等の高度な医療機器が導入されており、近隣の医療機関からの検査要請に協力しております。また、一般的な検査項目から特殊な検査項目まで幅広い検査に対応しており、半田市の地域医療を支える施設となっております。

国立大学法人東北大学 放射光研究拠点施設



概要	
完成年月	2024年1月
施工地	宮城県仙台市
建物用途	教育施設（研究施設）
延床面積	4,057.91㎡
階数	地上4階
工事範囲	空調・衛生設備工事

本物件は、同大学青葉山新キャンパスに建設された研究施設であります。同施設はナノスケールの観察を可能とする放射光施設（ナノテラス）で観測されたデータを研究するための施設となっております。様々なモノの内部や表面をナノスケールで可視化することで、新材料やデバイスの開発、生命機能、創薬の研究開発など幅広い分野での活用が期待されております。

テクノ菱和の技術の紹介

私たちテクノ菱和は「空気と水のテクノロジー」を基本理念として、お客様のニーズに応える最適な環境システムの提供を目指し、新しい技術の研究開発に取り組んでおります。今回はそのなかから、クリーンルーム清浄度自動測定システム「Doctor-CR®」についてご紹介いたします。

研究開発 Doctor-CR®（ドクターシーアール）

当社は、医薬品工場や電子デバイス工場等で導入されるクリーンルームでの環境測定の省力化と信頼性向上に取り組んでおります。この取組みのひとつとして2021年にDoctor-CR®を開発し、導入に向けて様々な改良を行っております。

クリーンルームとは清浄度や温湿度などの環境が制御された空間のことでありますが、十分な機能を発揮するためには、清浄度の点検が欠かせません。Doctor-CR®は清浄度の測定や集計を自動化することで、省力化と信頼性向上に貢献できるシステムとなっており、現在2つの運転モードに関する開発を行っております。

❶ **清浄度測定モード：** JISで規定された測定点数を測定し、自動計算した結果レポートが出力されるため、測定作業の大幅な省力化につながります。

❷ **パトロールモード：** 室内を巡回しながら環境測定(清浄度、温湿度、CO_2濃度など)を連続して行い、本体のディスプレイに表示します。測定結果が基準の範囲を超えるとアラームが表示されるため、空気環境の悪い場所が特定でき、原因解明が容易になります。

ロボットの走行システムは、床に置かれたポイントマーカーをカメラで認識して走行するため、事前に地図情報を作成する必要はなく、ポイントマーカーを測定点に置くだけで準備が完了します。今後も実際の運用に向けて、さらなる研究開発と機能改善を進めてまいります。



受注高	売上高	経常利益	当期純利益
82,797百万円	73,688百万円	6,374百万円	4,506百万円
＜ 前期比 12.6%増 ＞	＜ 前期比 20.7%増 ＞	＜ 前期比 79.2%増 ＞	＜ 前期比 92.7%増 ＞

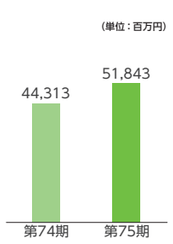
受注高構成比

（総受注高に対する割合を示しています。）

産業設備工事

62.6%　51,843百万円

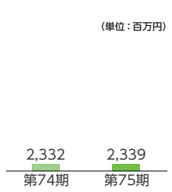
当期は、電子デバイス分野や医薬品分野で大型工事を受注できたことから、前期を大幅に上回る受注高となりました。今後も当社の得意とする産業設備工事を中心にバランスのとれた受注を推進するとともに、ライフサイクル一貫ソリューションビジネスを実践し、お客様との関係強化に努めてまいります。

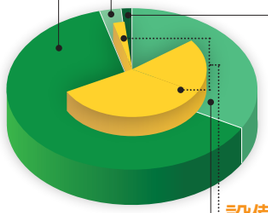


電気設備工事

2.8%　2,339百万円

連結子会社の松浦電機システム株式会社が、発電設備、太陽光発電やLED照明などの省エネルギー技術の提案・施工・メンテナンスを実施しております。





冷熱機器販売

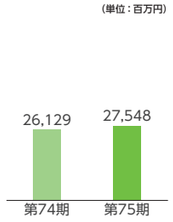
1.3%　1,065百万円

設備工事に関する空調機器等の販売を行っております。

一般ビル設備工事

33.3%　27,548百万円

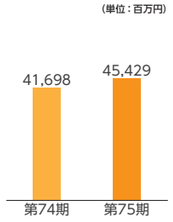
当期は、病院施設や大型商業施設などの受注により、受注高は堅調に推移いたしました。今後も継続的な設備の更新需要を取り込むとともに、学校や病院をはじめとするインフラ需要にも対応し、受注拡大に努めてまいります。



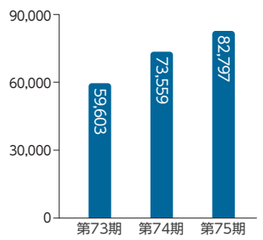
設備改善工事

54.9%　45,429百万円

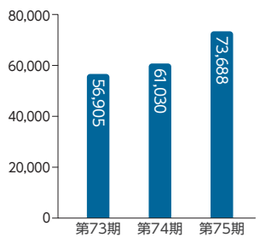
施設のロングライフ化に貢献するメンテナンス工事と経年劣化した設備の機能回復や、より効率的なシステムへの見直しを図るリニューアル工事を中心とした事業分野です。



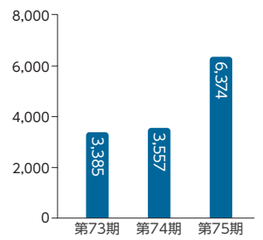
受注高の推移



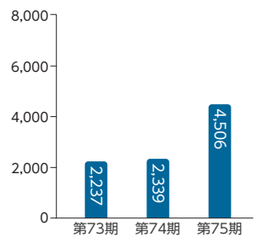
売上高の推移



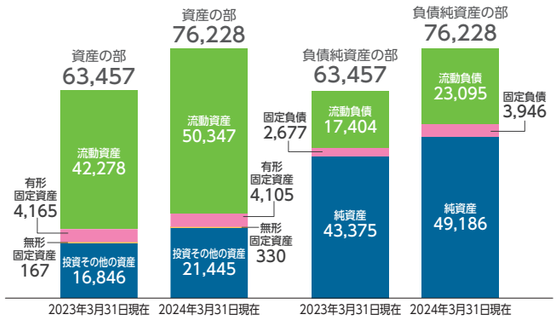
経常利益の推移



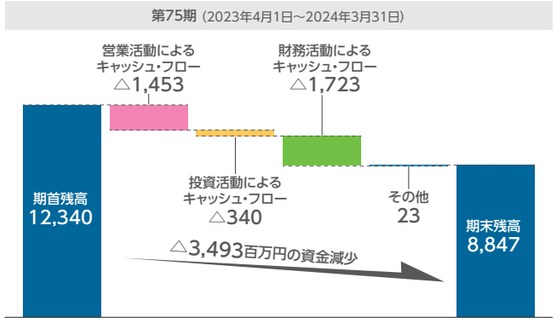
当期純利益の推移



貸借対照表の概要



キャッシュ・フローのポイント



財務のポイント

資産の部

流動資産における受取手形・完成工事未収入金等の増加89億円、電子記録債権の増加20億円、現金及び預金の減少33億円、固定資産における退職給付に係る資産の増加27億円、投資有価証券の増加19億円を主な変動要因として、前期末と比較して127億円増加し、762億円となりました。

負債の部

流動負債における未払消費税等の増加10億円、電子記録債務の増加10億円、未成工事受入金の増加9億円、固定負債における繰延税金負債の増加11億円を主な変動要因として、前期末と比較して69億円増加し、270億円となりました。

純資産の部

利益剰余金の増加37億円、退職給付に係る調整累計額の増加16億円、その他有価証券評価差額金の増加14億円、自己株式の取得による減少10億円を主な変動要因として、前期末と比較して58億円増加し、491億円となりました。自己資本比率は前期末と比較して3.9ポイント下降して64.5%となりました。

キャッシュ・フロー

税金等調整前当期純利益の計上による資金増加64億円、仕入債務の増加による資金増加17億円、未払消費税等の増加による資金増加10億円、売上債権の増加による資金減少109億円、自己株式の取得による支出10億円及び配当金の支払額7億円による資金減少17億円を主な変動要因として、現金及び現金同等物は前期末と比較して34億円減少し、88億円となりました。

詳しい情報はウェブサイトへ



テクノ菱和　検索

会社概要 （2024年3月31日現在）

商号	株式会社テクノ菱和 （英文表記 TECHNO RYOWA LTD.）
設立	1949年12月23日
資本金	2,746,800,000円
上場	東京証券取引所スタンダード市場
従業員	776名（連結899名）
本社	東京都豊島区南大塚2丁目26番20号
登記上の所在地	東京都港区芝大門2丁目12番8号
事業内容	当社グループは、産業用空調、冷暖房、給排水、衛生、電気設備等の設計・施工管理といった設備工事業ならびにそれらに付帯する業務を行っております。お客様のビジョンの実現に向けた計画提案、設計、施工、設備診断、アフターメンテナンスといったワンストップサービスを通じて、お客様を総合的にサポートしてまいります。

■産業設備関連事業　■太陽光発電事業
■一般ビル設備関連事業　■不動産賃貸事業
■電気設備工事業　■保険代理業
■冷熱機器販売事業

主な事業所

技術開発研究所（神奈川県横浜市）	名古屋支店（愛知県名古屋市）
東京本店（東京都豊島区）	静岡支店（静岡県静岡市）
東関東支店（茨城県土浦市）	大阪支店（大阪府大阪市）
北関東支店（埼玉県さいたま市）	中国支店（岡山県倉敷市）
東北支店（宮城県仙台市）	九州支店（福岡県福岡市）
横浜支店（神奈川県横浜市）	海外事業部（東京都豊島区）

役員 （2024年6月26日現在）

取締役

代表取締役会長	黒田英彦
代表取締役	加藤雅也
取締役	大石勉
取締役	袴田一博
取締役	鈴木俊夫
取締役（社外）	田中雅敏
取締役（社外）	佐古麻衣子
取締役常勤監査等委員	常木茂
取締役監査等委員（社外）	小坂井千春
取締役監査等委員（社外）	大島浩司

執行役員

社長執行役員	加藤雅也
専務執行役員	大石勉
専務執行役員	袴田一博
上席執行役員	黒田長憲
上席執行役員	窪和敏
上席執行役員	福士富三
上席執行役員	鈴木俊夫
上席執行役員	齋藤吉信
執行役員	堀下浩
執行役員	武石義人
執行役員	武田和夫
執行役員	水野則康
執行役員	大塚弘之
執行役員	菊池智克
執行役員	門司泰宏
執行役員	森茂樹

企業集団の状況 ※連結子会社

東京ダイヤエアコン株式会社※
所在地　東京都新宿区
主要な事業の内容　空調衛生設備工事業

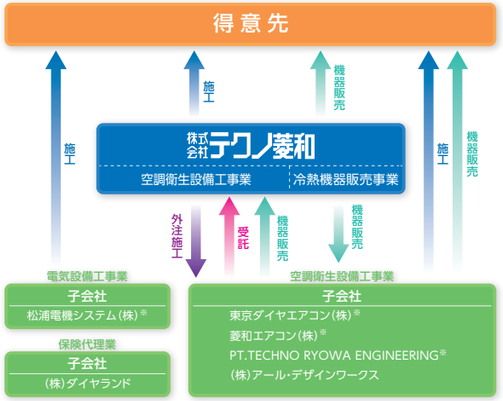
PT.TECHNO RYOWA ENGINEERING※
所在地　インドネシア共和国
主要な事業の内容　空調衛生設備工事業

菱和エアコン株式会社※
所在地　愛知県名古屋市
主要な事業の内容　空調衛生設備工事業

株式会社アール・デザインワークス
所在地　大阪府大阪市
主要な事業の内容　空調衛生設備工事業

松浦電機システム株式会社※
所在地　大阪府守口市
主要な事業の内容　電気設備工事業

株式会社ダイヤランド
所在地　東京都港区
主要な事業の内容　保険代理業



株主優待制度のお知らせ

当社株式を決算期末日に100株以上ご所有の株主様に静岡の新茶をプレゼントいたします。



ご優待品「特選茶」

ご優待内容

ご所有株式数1,000株以上	静岡の新茶2パック贈呈
ご所有株式数100株以上1,000株未満	静岡の新茶1パック贈呈

株式の状況 （2024年3月31日現在）

発行済株式の総数	22,888,604株
株主数	7,050名

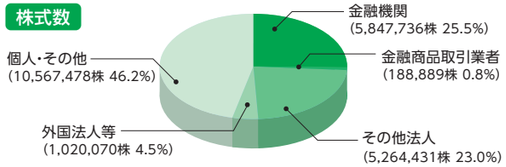
大株主 （2024年3月31日現在）

株主名	持株数（千株）	持株比率（%）
テクノ菱和取引先持株会	2,206	10.4
三菱重工サーマルシステムズ株式会社	1,424	6.7
株式会社三菱UFJ銀行	971	4.6
株式会社みずほ銀行	971	4.6
東京海上日動火災保険株式会社	816	3.8
株式会社名古屋銀行	738	3.5
明治安田生命保険相互会社	734	3.4
テクノ菱和従業員持株会	725	3.4
株式会社京葉銀行	723	3.4
重田　康光	640	3.0

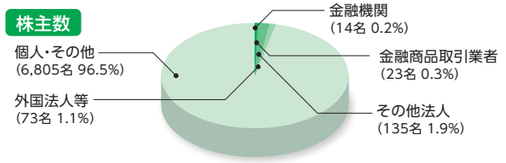
※ 当社は、自己株式1,849,158株を保有しておりますが、上記大株主からは除いております。また、持株比率は自己株式を控除して計算しております。

株式の分布状況 （2024年3月31日現在）

株式数



株主数



株主メモ

事業年度	4月1日から翌年の3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
基準日	定時株主総会　3月31日 期末配当金　3月31日 中間配当金　9月30日
株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1−1　電話 0120-232-711（通話料無料） 郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
単元株式数	100株
公告掲載URL	https://www.techno-ryowa.co.jp/ （ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じた時には、日本経済新聞に公告いたします。）
諸手続きお問い合わせ先	【住所変更、買取請求その他各種お手続きについて】 ●証券会社をご利用の株主様 お取引の証券会社等にお問い合わせください。 ●特別口座に記録された株式をご所有の株主様 特別口座の口座管理機関である三菱UFJ信託銀行にお問い合わせください。 【株主総会資料に関する書面交付請求について】 株主総会資料は電子提供措置をとっておりますので、書面での送付をご希望の場合は、三菱UFJ信託銀行またはお取引の証券会社等を通じて、「書面交付請求」のお手続きを行ってください。 【未受領の配当金について】 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

株式に関するマイナンバー制度のご案内

市区町村から通知されたマイナンバーは、株式の税務関係のお手続きの際に必要となります。なお、株式に関するマイナンバーの詳細につきましては、口座を開設されている証券会社等へお問い合わせください。

特別口座をご使用の株主様へ　お早めに株式をお振替えください

特別口座に記録されている株式は、証券市場での売買を行うことができません（単元未満株式は除く）。また、特別口座で管理されている株式は相続や贈与時のお手続きが煩雑になってしまいます。
ご所有の株式が特別口座に記録されている場合は、証券会社等に一般口座を開設し、特別口座から株式をお早めにお振替えください。
詳しいお手続きにつきましては三菱UFJ信託銀行にお問い合わせください。

お手続き	三菱UFJ信託銀行株式会社　証券代行部
お問い合わせ先	〒183-0044　東京都府中市日鋼町１－１　TEL:0120-232-711（通話料無料）

株式会社テクノ菱和
https://www.techno-ryowa.co.jp/
〒170-0005 東京都豊島区南大塚2丁目26番20号
お問い合わせ TEL：03-5978-2541

VEGETABLE OIL INK
環境に優しい植物油インキを使用して印刷しています。

UD FONT

FSC www.fsc.org
ミックス
紙 | 責任ある森林管理を支えています
FSC® C022915